

7/8(金)
七夕(東3条)

ツイッターにも載っています！職員とご利用者で天の川を見立てたゼリーを作って、おいしくいただきました(^~*)

7/30(土)
花火大会(SS)

今年も納涼祭は中止となり、残念…。夏の思い出を！ということで、ショートステイご利用者で花火を行いました！

7/31(日)
誕生日会(西3条)

ユニットで夏の装飾を作り、飾りつけました！誕生日の方には、職員手作りのメッセージカードをプレゼント📄させていただきました♪



フォーライフ桃郷便り

発行所
毎日寿心社
世田谷区北鳥山7-8-11
TEL03-3300-1600

8月号

※感染症対策は
十分に
配慮しております

施設での行事およびイベント紹介

【2022年8月イベント予定】

- 14日(日) 誕生日会(東3条)
- 16日(火) 誕生日会(東3条)
- 20日(土) スイカ割&花火(3条)
- 20日(土) フロアイベント(夏)(2条)
- 26日(金) 誕生日会(デイ)

【2022年9月イベント予定】

- 17日(土) 敬老会(デイ、ショート)

※下記記事等の予定は中止
フラワーアレンジメント倶楽部、売店、日曜喫茶

～ 施設からのお知らせ ～

現在、当施設では以下の水際対策により新型コロナウイルスを「持ち込まない」「拡げない」対応の徹底を図っております。

- 全職員対象による抗原検査とPCR検査を毎週実施
- 具合が悪い職員の速やかな出勤停止と抗原検査の実施
- ご利用者45名への4回目(3回目含む)のワクチン接種を7/21に終了
- 職員の4回目ワクチン接種の推奨
- 入館制限及び入館時の体調確認



～思い出の味 第2段～



～夏が来ると思い出す 遙かな 尾瀬 遠い空♪～

皆さんは、この夏はどうお過ごしですか？この夏私は、何処にも出かけない日々を過ごしていましたが・・・土用の丑の日にたまたまお休みだったので、ちょっと奮発して鰻を食べに行きました♪できたてのうな重をゆっくり味わって食べていると、ふと昔家族で食べたうな重を思い出しました。私の実家は、町の洗濯屋で常にお店を開けていたので、家族そろってご飯を食べることはなく、出前が来ると、まず、父と姉、私の3人で食べ始めます。父は、味わうことなく豪快にかき込んで食事を済ませ、一息入ると母と交代するのですが、店に行く前に『お前たちは、ゆっくり味わって食べろ!』と言っていました。母は、ゆっくりと『美味しいわね～』と感想を述べながら楽しんで食べていました。家族の思い出と共に思い出すのは、時間が経って浸み込んだ鰻のたれで、白飯がさらに柔らかく甘くておいしかったことや山椒の香りが華やかでとても好きになったことなど・・・昔を懐かしみながら心もお腹も満たされて、お店を後にしました。

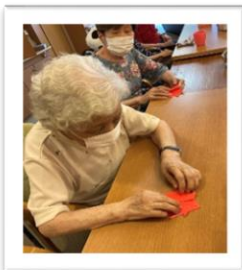
栄養調理課 高野



涼しさを飾る



暑い日が続いていますね！少しでも涼しく感じたい、ということで、ショートステイでは見た目が涼し気な季節の飾り作りをしました。今回は夏らしい風鈴と金魚の飾りです。



ご利用者にも作業を手伝って頂きました。指先を動かし細かい作業をすることは、認知症の予防にも繋がるので頑張っていました。そして、可愛らしい飾りが完成しました！今年の夏は例年より暑い日が続いているので、この飾りを見て、少しでも涼しさを感じて頂けたらと思います。

ショートステイ 小松 駿也

職員紹介 Vol. 64

Q1 一番の自慢は何ですか？

娘と洋服のシェアをしていること。

Q2 尊敬する人物は？ 母

Q3 なぜ今の仕事を選んだのですか？

高齢社会の中で、事務として役に立ちたいと思ったからです。

Q4フォーライフ桃郷で働いてみての感想は？

職員同士のコミュニケーションがよくとれていると思いました。

Q5 最後になにか一言！

早く仕事に慣れるように頑張ります。

部署 事務部

〇巻 ◇△さん



調布市 出身
B型

編集後記

夏がくれば思い出す

連日35度を超える暑さが続いています。昔から暑さに強いと自負していますが、最近の暑さはさすがに身体にこたえます。さて、夏といえば皆さんは何を連想しますか？私の場合は夏といえば「高校野球」を連想します。20数年前は私も白球を追う高校球児で、甲子園を目指していました。最近の母校は甲子園に出場することもなくなつたので、恥ずかしくて母校の名前を出すことはできませんが、夏になると野球部時代の出来事（ほとんど辛く苦しい出来事）を思い出します。

今では問題になるような監督やコーチからの指導（笑）や、上下関係等、人に話す信じてもらえない出来事の連続で、野球部を引退したらこの世の悩み事は一切なくなると本当に信じていた18歳の夏。それくらい肉体的、精神的にもきついことが多かったですが、大人になって思うのは、野球部を経験したからこそ今の自分があるということです。

辛い経験や苦しい経験も必ず自分の糧になる。それを教えてくれたのが高校野球です。

松坂大輔と

編集長 水上 健

